

子ども防災 (第10号)

プロジェクトニュース

発行：鶴見橋中学校

発行日：2013.9.27



全校防災集会を終えて

9月9日には防災集会が開かれ、今年8月に東北を訪れた生徒会・子防プロメンバーの代表3名が全校生徒に向けてその報告を行いました。3人は語り部を務めてくれた東北の方々の震災当時の話を写真を交えながら発表してくれました。発表の最後には、語り部さんたちの中から南三陸町でガイドをしてくださった高校生の佐藤さんとおらが大槌夢広場の代表・臼沢（いすずやわ）さんのお話を実際の映像で聞いてもらいました。お一人とも地震によってかけがえのない大切な人を失い、その大切な人を普段からもっと大事にしておけばよかったと後悔されています。お二人がお話ししていく中、「大切な人を大切にすること」、「思つたことはすぐ言葉に、すぐ行動に移す」という言葉は鶴中のみんなにとてもたいへん心に残るものであったと思います。

★子防プロ★
9月30日（月）
放課後4時より活動します！

今回は防災標語を選別し、学校掲示をする大切なお仕事です！これまで活動に参加していなかった人も大歓迎！(^_^)
この機会にぜひ参加してみてください！

新メンバー募集中!!



大切な人をもっと大切にしたい」とこの言分たちの日常を見つめなおさうとするのがたくさん見られました。

さて、そんな有意義な時間となつた防災集会から約2週間がたちます。あれから

みんなの家族や友だちへの態度は変わり

ましたか？毎日、「ありがとう」を伝えていますか？
「今」を大切にしていますか？今回、鶴中のみんなのためにたくさんメッセージを残してくれた東北の方々のためにも、ぜひ今一度『普段のことから真剣に』という言葉を思い返し、実践してもらいたいと思います。

募集した防災標語を少し紹介します。
子防プロの選んだ標語を学校に掲示します！

- ・防災で多くの命助けよつ
- ・「あらがとい」思つたりすぐ伝えよつ
- ・東北で学んだことを語り継ぐ
- ・生きぬため避難訓練ちゃんとしよつ
- ・防災は命を救う第一歩
- ・いのちをつなげよう、つながろう
- ・自分の命がまさ優先
- ・絶対にあたりまえのこと大切に
- ・津波来てだれかを待たずまず逃げよつ
- ・素晴らしい標語をたくさん考えてくれました！

避難所訓練合宿にむかひ

十一月十五日（金）～十六日（土）には、避難所訓練合宿が行われます。この西成区で地震や台風などの自然災害が起こったとき、この鶴見橋中学校は地域の方々のために避難所となります。もし本当に鶴中が避難所となつたとき、中学生のみんなには何ができないのでしょうか。『もしも』のときを想定して、子防プロメンバーを中心に防災訓練合宿に取り組みましょう。自分たちで炭に火をおこして食事を作ったり、体育館で一夜を過ごしたり。中学校が避難所になつたときには実践できる貴重な経験が得られることがあります。参加を考えている人、なかに質問のある人は、1年木下先生、2年大西先生、3年小野寺先生まで。